

JPS主催 2013年 第9回

公益社団法人 日本写真家協会

# 名取洋之助 写真賞

2012年 第8回名取洋之助写真賞：安田葉津紀「HIVと共に生まれるーウガンダのエイズ孤児たちー」



## 作品募集

日本写真家協会は、“新進写真家の発掘と活動を奨励する”ために、35歳までの写真家を対象とした2013年第9回 名取洋之助写真賞の公募を行います。時代を捉える鋭い眼差しと豊かな感性による、斬新な作品を期待します。

募集期間： 2013年7月1日(月)～8月20日(火)

応募資格： 35歳までの方 ※1978年1月1日以降生まれ・プロ、アマチュアは問いません

表彰・賞金等 名取洋之助 写真賞 1名 賞金 10万円 + 受賞作品 写真集  
(写真集の印税等は発生しません)

名取洋之助 写真賞 奨励賞 1名 賞金 10万円

名取洋之助写真賞及び奨励賞は、富士フィルムフォトサロン 東京、富士フィルムフォトサロン 大阪にて受賞作品写真展開催予定

**YUNOSUKE NATORI PHOTOGRAPHY AWARD**

## ● 応募資格

応募者は35歳まで(1978年1月1日以降生まれ)の方で、プロ、アマチュアは問いません。

## ● 応募規定

- 1: 発表、未発表を問いませんが、他のコンテストで、受賞が決定または内定しているものは除きます。
- 2: フィルム、デジタルなど、いずれで撮影されたものでも構いません。ただし加工・合成処理したものは不可とします。  
※受賞作品は写真展用に大伸ばし(半切〜全紙)にしますので、デジタルの場合は、撮影画素数にご留意ください。
- 3: 提出作品は、六ツ切(8×10インチ)またはA4サイズの同一テーマの作品(プリント)30点。作品は額装、台紙貼り、製本、ファイリング等ほししないでください。  
※必ず作品の順番が分かるよう、裏面に番号を明記してください。
- 4: 応募作品に添付するもの、撮影者履歴、題名(タイトル)、撮影意図(800〜1000字以内)を同封。
- 5: 公序良俗に反しないもの、被写体の肖像権のほか管理、所有権等について問題が生じないもの。
- 6: 受賞作品の原板(フィルム、データ等)を提出していただきます。原板は使用後返却します。

## ● 表彰・賞金等

名取洋之助写真賞 ----- 1名 賞金 10万円、及びJPSが企画する写真集の制作  
(写真集の印税等は発生しません)

名取洋之助写真賞奨励賞 --- 1名 賞金 10万円

東京、大阪で受賞作品 写真展の開催予定

## ● 著作権・使用権の許諾

- 1: 受賞作品の著作権は撮影者に帰属します。
- 2: 受賞作品は発表後2年間、主催者(日本写真家協会)が優先して使用します。
- 3: 受賞作品は印刷、放送媒体のほかインターネット等で使用されることを承諾していただきます。
- 4: 名取洋之助写真賞のPR広告活動に使用いたします。

## ● 応募期間と送付・提出先

- 1: 応募期間  
2013年7月1日(月)〜8月20日(火)午後5時必着。
- 2: 送付・提出先  
書留郵便または宅配便(送料は応募者負担)または持参。  
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 JCIビル303  
公益社団法人 日本写真家協会「名取洋之助写真賞」係

## ● 作品の返却

- 1: 応募作品は受賞作発表後2ヵ月以内に返却します。
- 2: 返却希望の方は、返却希望と朱書きしてください。  
受取人払いの宅配便にて返却します。  
※ただし、受賞作品の返却は致しません。

## ● 応募票

応募票は日本写真家協会(JPS)のホームページからダウンロードするか、FAXにてご請求下さい。  
<http://www.jps.gr.jp/> FAX: 03-3265-7460



## ● 2013年 第9回名取洋之助 写真賞の選考委員(予定)



鎌田 慧 (ルポライター)

業界紙(鉄鋼新聞社)記者を経てフリーライターとなる。弱者の立場にたったルポルターージュを数多く執筆。

受賞歴: 1990年「反骨 鈴木東民の生涯」で「新田次郎文学賞」  
1991年「六ヶ所村の記録」で「毎日出版文化賞」



大島 洋 (写真家・公益社団法人日本写真家協会 会員)

1964年よりフリーランス。九州産業大学芸術学部教授。  
主な写真集:『幸運の町』、『ハラルの幻』  
『写真に帰れ・伊奈信男写真論集』

受賞歴: 1987年「第1回写真の会賞」  
2003年「第28回伊奈信男賞」



田沼 武能 (写真家・公益社団法人日本写真家協会 会長)

木村伊兵衛氏に師事。芸術新潮、タイムライフ嘱託などを経て1972年からフリーランス。「世界の子どもたち」をライフワークとして、これまで130カ国以上の人々を撮影する。

受賞歴: 1985年「菊池寛賞」、1990年「紫綬褒章」  
2003年「文化功労者」

## 名取洋之助 写真賞について

ドイツに留学していた名取洋之助は23歳の若さで、1930年代ヨーロッパで勃興していたフォト・ルポルターージュをわが国に導入し、木村伊兵衛らと33年「日本工房」を興す。その後、土門拳、藤本四八、亀倉雄策らと『NIPPON』を創刊し、フォト・ジャーナリズムを確立する。戦後は47年に『週刊サン・ニュース』を創刊。50年に『岩波写真文庫』を創るなど、写真家であると同時にすぐれた企画、編集者でもありました。公益社団法人日本写真家協会は、名取が関わった日本工房、サンニュース時代の原板の寄贈を受けており、それから生じた収益をこの募金に充てています。

